

第 8 回

全道展

目録



7月28日



8月9日

札幌

Hou. da  
- 53





# 母となる日

のために

生れくる者のために……一日に何人かの妊娠中のご婦人が、お近くの薬局や、病院・保健所を訪ね、健康のご相談をなさるのも、美しい母性愛のあらわれです。

母となる日のために……この時期はお母さまの健康はもちろん、胎児の生長と發育にとつて、最も必要なのは充分な栄養です。

特に薬局でお奨めになるポボンS錠は、骨をつくるカルシウム・血をつくる鉄・銅などのミネラルを含んだ総合ビタミン剤で、各ビタミンを高単位に含んでいるのが特長です。

ミネラル・高単位総合ビタミン剤

## ポボン-S錠

- 15錠 350円・50錠 950円
- お母さまのお乳が唯一の栄養である乳児や人工栄養児に……ミルクやスープにとかしてのめるポボン液
  - 発育ざかりのお子さまには……のみやすいポボン錠

札幌市南1條西2丁目

塩野義製薬株式会社札幌支店



SHIONOGI



高い建物

## 野火A・B

遠藤未満

勇拂原野には恐ろしいまでに壮大な野火が多いが、私の描く野火は子供の時から見てきた幻想が入っている。畫面構成とか繪の肌といったことに非常に辛勞する。描いては削り描いては削りして出來上つていく。



## 出品作について

松島正人

二十代三十代でとづくに、やつていなければならなかつた仕事を今ごろになつてやり出している。過去を無駄に過したとは思わないが、何か悔恨に似たものが残る。

レジスタンは外へより内に向うものようだ。

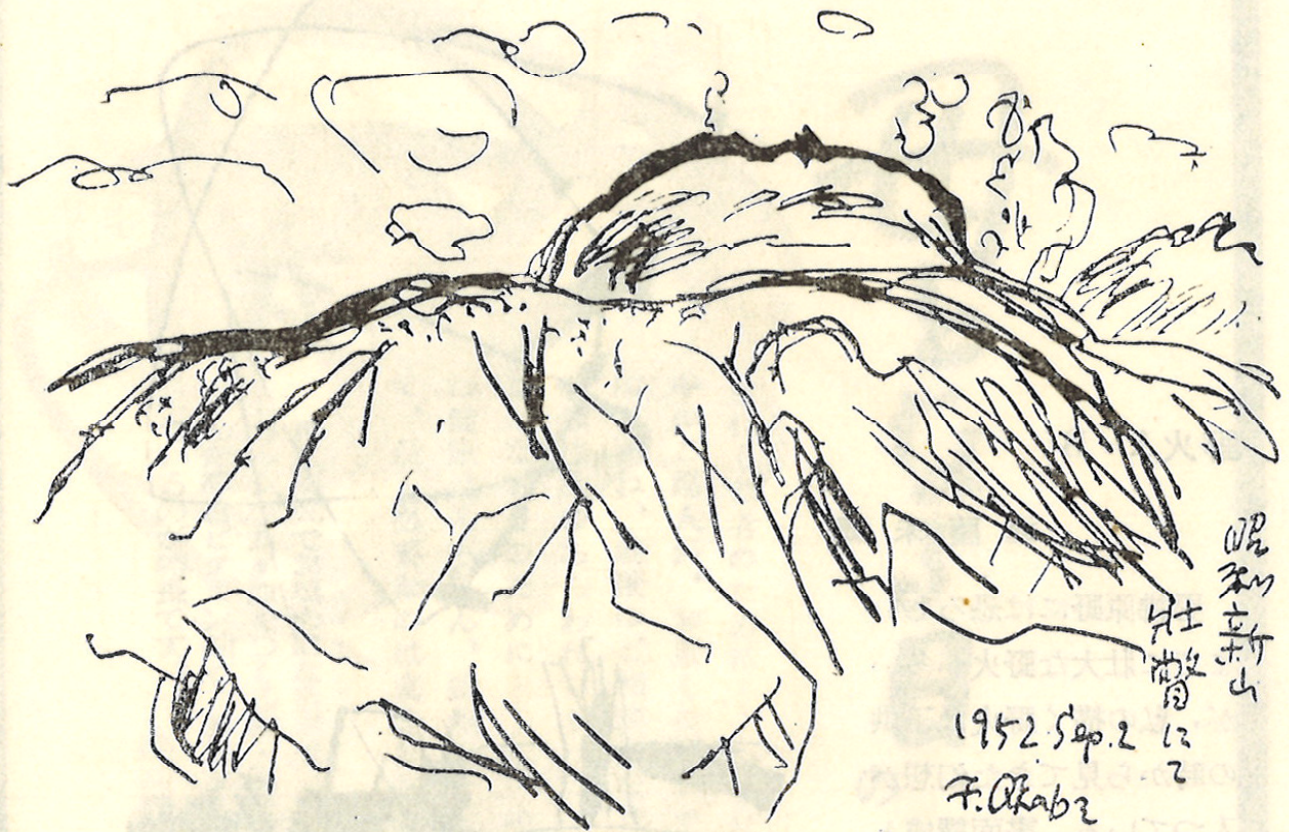
1953.7.12

## 夏景について

池谷實一

この畫は、自家の裏山から描いた、海は津輕海峽、太い煙突のあるのは函館公園内の圖書館である。實景をあまり變えず、炎天下に畫架を立てて、十日程描いた。あとは畫室内で少々手を加えた。この繪の弱いのが一番の欠點と思つています。





## 昭和 新山

岡部文之助

昨夏の作品。右うしろの老人のような有珠岳と、壯瞥の驛前に積まれた木材の山、軽石、鉄を含む褐色の土、白い土、生れたばかりの昭和 新山とで青年の若さを感じた。新鮮で元気な風景を描きたかつた。唯の寫實ではないつもりだったが……………。

## 小女の首

本田明二

所謂美人型の人には首を作つて見たいと思わない。去年から冬を越したこの首は一月ばかりモデルさんに來てもらつて寫生し、後は出来るだけデテールを省略して大きなマツスとして處理してきたが考えていたようには出來ず、今まで幾つも作つて來た首と同じような失敗が石膏にしてみるとまざまざと出てしまつた。モデルのもつている人間的な暖か味が幾分でも出ていれば幸いである。



## 高い建物

鈴木 傳

小樽色内町銀行街の一隅である。まだ雪が陰に少し残っているころふと通りかかつて見上げた時からあれこれと思いめぐらして幾日かを幾枚かに描き過した。やがて路地の雪も消え失せて乾き薄陽にもなにやら暖かさを持つ季節となつていた。



r.s.



八木 保 次

自動車のブザーのよう<sup>に</sup>あまりに近くで牛が鳴いた。

焦点を合せている望遠鏡のように樹々の葉の小さなはざ間を太陽が上下する。

波のように葉肌がゆれ旗のような帆のように風が吹いてゆく。



## 田中忠雄

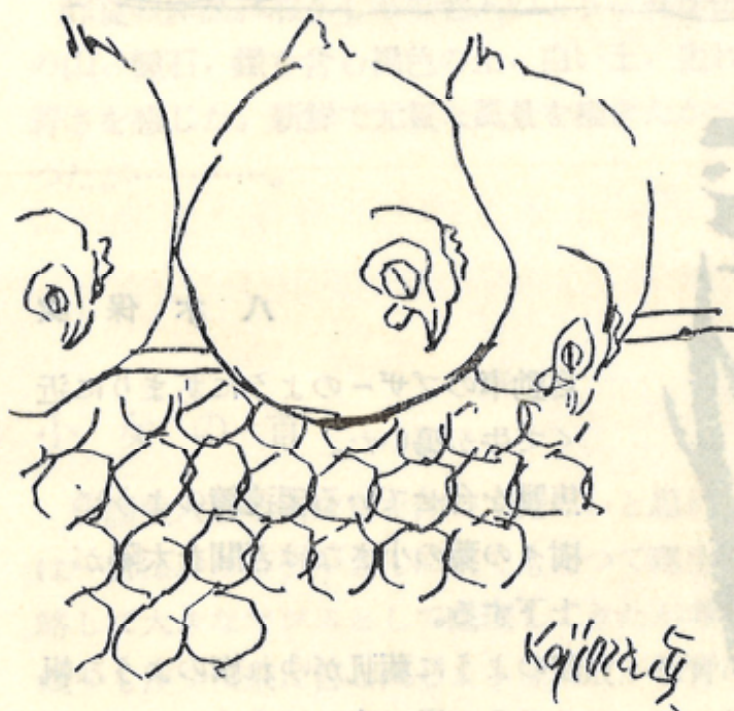
今度の出品畫は人物と風景と各一點ずつだつたが見て頂きたいのは風景畫の方である。それはこの二年以來研究して漸々辿りついた私の風景畫のスタイルの見本という意味で、



人物畫の方は、むしろ並んだ二人の人物の表情や、ポーズなどに興味をもつて始めたのだが、も一つ深く意圖するところは、外國から日本に來る傳道者と、これについて通譯して回る日本人と、こういう存在を私は多少皮肉な目で見ているのだ。

## 小島眞佐吉

練馬の麥島の中で暮していると、鶏、やぎ、小鳥など私の生活にとけこんで呉れるそれらの動物たちと、語り話しながら作畫を續ける毎日なのです。冬がれた丘に親子のやぎが暮日を喫している。春を待ち丘の緑を戀こがれている親やぎ、子やぎはそんなことを考えていないらしい。やせたおツパイだと初めからそう思っているだろう。いろいろと構成した作品を何枚か描いてみて20號に描いて見ました。





# 目 録

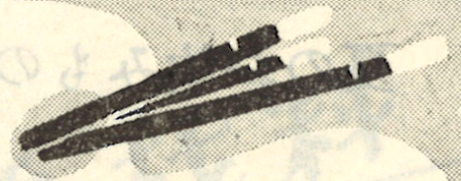
(繪)	畫)		會 員								
鮭	泥	棒	會 員	上	野	山	清	貢	東	京	都
青	き	湖	〃	田	邊	三	重	松	函	館	市
初		秋	〃	〃	〃	〃	〃	登	〃	樽	市
眼	の	魚	(A)	國	松			三	小	館	市
〃	な	(B)	〃	〃	〃			〃	〃	〃	市
〃	い	も	〃	岩	船	修	三	〃	函	〃	市
〃	り	女	〃	〃	〃			〃	〃	〃	市
少		景	〃	松	島	正	人	東	〃	京	都
風		景	〃	田	中	忠	雄	〃	〃	〃	都
風		物	〃	〃	〃			札	〃	〃	市
人		景	〃	谷	口	玉	二	郎	札	幌	市
風		像	〃	國	井	精	登	二	札	幌	市
少	女	婦	〃	菊	地	保	次	郎	東	京	都
裸	と	女	〃	八	木	三	〃	子	札	幌	市
鳥	籠	根	〃	橋	本	鈴			函	館	市
拔		物	(A)	松	島				〃	京	都
人		(B)	〃	〃	〃				〃	〃	市
〃		〃	〃	高	橋	北	修		旭	川	市
靜		物	〃								市

料理と洋画の店

各地額縁豊富にあつ

**野田額縁店**

札幌市理小路二丁目 T③2203





野		火 (A) 會 員	遠 藤 未 滿	膽 振 國 遠 淺
〃		(B) 〃	〃	〃
靜		物	田 邊 謙 輔	横 濱 市
函	館 夏	景	池 谷 寅 一	函 館 市
修	道 院 の	秋	〃	〃
凝		視	三 雲 祥 之 助	武 藏 市
花			小 川 マ リ 子	〃
昭	和 新 山		岡 部 文 之 助	東 京 都
盛	夏 の ト ラ ビ ス ト		東 政 雄	函 館 市
夏	果 小	品	〃	〃
老	婦	像	伊 藤 信 雄	札 幌 市
高	い 建	物	鈴 木 傳	小 樽 市
枯	れ た	立	小 島 眞 佐 吉	東 京 都
揺		籠	〃	〃
風		景	齋 藤 廣 胖	有 珠 郡 伊 達 町
選		果	一 木 万 壽 三	空 知 郡 江 部 乙 町
靜		物	森 本 三 郎	小 樽 市
街			〃	〃
作		品	居 串 佳 一	東 京 都
殘	雪 の 炭	坑	松 田 實 子	美 唄 市
作		品 (A)	大 谷 久 子	札 幌 市
〃		(B)	〃	〃


夏のお飲みものもやっぱりコーヒーです

さつぽろ・南3・西3 TEL(3)2658

ミシット



静裸		物	會友	岸	葉子	札	幌	市
裸		婦(二人)	〃	〃	〃	〃	〃	〃
春	の	婦(一人)	〃	〃	〃	〃	〃	〃
漁	村	街	〃	漆	崎	函	館	市
く	ん	景	〃	天	野	茅	郡	鹿
手	園	い	〃	八	木	東	京	部
田	村	袋	〃	〃	〃	〃	〃	〃
山	の	朝	〃	諏	訪	江	別	町
倉	の	夕	〃	〃	〃	〃	〃	〃
街		庫	〃	谷	口	札	幌	市
作		路	〃	〃	〃	〃	〃	〃
静		品	〃	鎌	田	函	館	市
婦	人	物	〃	〃	〃	〃	〃	〃
黒	の	像	〃	柄	内	札	幌	市
青	コ	ム	〃	千	葉	小	樽	市
病	ス	衣	〃	〃	〃	〃	〃	〃
建	テ	院	〃	高	橋	美	唄	市
コ	イ	物	〃	後	祐	札	幌	市
ク	ス	場	〃	三	八	上	川	町
(會友推薦)	階	段	〃	竹	啓	札	砂	市
スタンドのある	階	物	〃	赤	上	旭	幌	市
花		噴火のある	〃	濱	内	鹿	川	市
良	い	女・二人(B)	〃	石	直	部	部	市
冬	日・建	物	〃	〃	田	幌	市	市



**ホルベインの洋画材料**

**維新堂**

札幌・四丁目 〒②0623



沼北	邊有	地情	佐藤	春武	雄彦	函札	館幌	市市
假意の踊り・踊り・船と風	の藏	店物	淺高	野森	武茂	小札	樽幌	市市
冬の静	藤氏	像色	内笠	山井	和雅	札〃	幌	市市
佐港	街暮	囚景	山川	内越	國誠	函鹿	館追	市村
死圓	刑終	景景	岡小	田野	悟哲	札室	幌蘭	市市
雪手		物花	松諫	田訪	之助	室室	蘭別	市市
静窓	邊の	服所 (A)	平長	出川	英公	當札	幌幌	市町
赤測	い候	ド	小佐	野藤	和哲	札荻	伏	市村
春に	近き	田園	今久	野守	隆昭	木美	古内	町市
椅子	の静	物 (A)	田高	中野	祥次	室室	深蘭	市市
市建		街物 (A)	山佐	内々	政榮	札釧	幌路	市市
たわむれる	猫	風景	市市	川	貞	札	幌	市市

# 額縁専門店



油彩・水彩・肖像  
キャンパスと枠・各種縁

# 服部額縁店

札幌市北1西10 ㊦②6029



工場風景	静かなる素朴・よごれた建物風景	谷菅酒野安村蛸高岡宮木布大佐十山木	島原井本達元子野林原廣倉木川口原	由稜嘉惠俊善政政繁康泰昭美昭惣康	松三也醇子郎悦志知雄夫一吾子道市行	室札俱札小苦函函函名函名	蘭幌知幌樽小館館館密館幌密館寄館居樽蘭館小牧	市市町市市市市市市町市市町市市市市市市
跨線橋	のある風景	安村蛸高岡宮木布大佐十山木	島原井本達元子野林原廣倉木川口原	由稜嘉惠俊善政政繁康泰昭美昭惣康	松三也醇子郎悦志知雄夫一吾子道市行	室札俱札小苦函函函名函名	蘭幌知幌樽小館館館密館幌密館寄館居樽蘭館小牧	市市町市市市市市市町市市町市市市市市市
教會のある風景	物・風景	安村蛸高岡宮木布大佐十山木	島原井本達元子野林原廣倉木川口原	由稜嘉惠俊善政政繁康泰昭美昭惣康	松三也醇子郎悦志知雄夫一吾子道市行	室札俱札小苦函函函名函名	蘭幌知幌樽小館館館密館幌密館寄館居樽蘭館小牧	市市町市市市市市市町市市町市市市市市市
静鳥	と静	安村蛸高岡宮木布大佐十山木	島原井本達元子野林原廣倉木川口原	由稜嘉惠俊善政政繁康泰昭美昭惣康	松三也醇子郎悦志知雄夫一吾子道市行	室札俱札小苦函函函名函名	蘭幌知幌樽小館館館密館幌密館寄館居樽蘭館小牧	市市町市市市市市市町市市町市市市市市市
花を主題にした静物	雪家人	安村蛸高岡宮木布大佐十山木	島原井本達元子野林原廣倉木川口原	由稜嘉惠俊善政政繁康泰昭美昭惣康	松三也醇子郎悦志知雄夫一吾子道市行	室札俱札小苦函函函名函名	蘭幌知幌樽小館館館密館幌密館寄館居樽蘭館小牧	市市町市市市市市市町市市町市市市市市市
建春白少立卓機青白	壁の二上・静	安村蛸高岡宮木布大佐十山木	島原井本達元子野林原廣倉木川口原	由稜嘉惠俊善政政繁康泰昭美昭惣康	松三也醇子郎悦志知雄夫一吾子道市行	室札俱札小苦函函函名函名	蘭幌知幌樽小館館館密館幌密館寄館居樽蘭館小牧	市市町市市市市市市町市市町市市市市市市
(協會賞)	建物群像(B)・懺悔の鳥のエチュード	安村蛸高岡宮木布大佐十山木	島原井本達元子野林原廣倉木川口原	由稜嘉惠俊善政政繁康泰昭美昭惣康	松三也醇子郎悦志知雄夫一吾子道市行	室札俱札小苦函函函名函名	蘭幌知幌樽小館館館密館幌密館寄館居樽蘭館小牧	市市町市市市市市市町市市町市市市市市市
不安なる奉仕者影		安村蛸高岡宮木布大佐十山木	島原井本達元子野林原廣倉木川口原	由稜嘉惠俊善政政繁康泰昭美昭惣康	松三也醇子郎悦志知雄夫一吾子道市行	室札俱札小苦函函函名函名	蘭幌知幌樽小館館館密館幌密館寄館居樽蘭館小牧	市市町市市市市市市町市市町市市市市市市
(獎勵賞)	1. 静物 2. 静物 3. 静物	安村蛸高岡宮木布大佐十山木	島原井本達元子野林原廣倉木川口原	由稜嘉惠俊善政政繁康泰昭美昭惣康	松三也醇子郎悦志知雄夫一吾子道市行	室札俱札小苦函函函名函名	蘭幌知幌樽小館館館密館幌密館寄館居樽蘭館小牧	市市町市市市市市市町市市町市市市市市市
苗穂風景	・橋脚風景	安村蛸高岡宮木布大佐十山木	島原井本達元子野林原廣倉木川口原	由稜嘉惠俊善政政繁康泰昭美昭惣康	松三也醇子郎悦志知雄夫一吾子道市行	室札俱札小苦函函函名函名	蘭幌知幌樽小館館館密館幌密館寄館居樽蘭館小牧	市市町市市市市市市町市市町市市市市市市
本	光・水	安村蛸高岡宮木布大佐十山木	島原井本達元子野林原廣倉木川口原	由稜嘉惠俊善政政繁康泰昭美昭惣康	松三也醇子郎悦志知雄夫一吾子道市行	室札俱札小苦函函函名函名	蘭幌知幌樽小館館館密館幌密館寄館居樽蘭館小牧	市市町市市市市市市町市市町市市市市市市
(道新賞)	原野・農器具	安村蛸高岡宮木布大佐十山木	島原井本達元子野林原廣倉木川口原	由稜嘉惠俊善政政繁康泰昭美昭惣康	松三也醇子郎悦志知雄夫一吾子道市行	室札俱札小苦函函函名函名	蘭幌知幌樽小館館館密館幌密館寄館居樽蘭館小牧	市市町市市市市市市町市市町市市市市市市

# きくろ 油絵具

石膏像と洋画材料一式

札幌十字街 富貴堂文具部



街	ど	け	の	街		太	田	實	室	蘭	市
雪				物	(A)	小	向	昭	厚	岸	町
靜						丸	山	惠	今	金	町
夏				門		ハ	橋	リ	眞	内	舍
校				景	(A)	ヴ	上	ヰ	夕	張	市
風				景	(B)	イ	川	ン	苦	小	市
風				畔		高	根	雄	青	森	市
湖				ら		村	口	郎	東	旭	市
は	な	東	・	ら		小	藤	子	岩	見	市
遊	蝶	花	と	籠	・	山	田	平	名	寄	町
		果	物	機	關	藤	十	俊	函	館	市
倉	庫	と	岸	壁	庫	五	嵐	一	琴	似	町
風	景	・	田	園	風	小	野	造	函	館	市
建				物	景	管	野	昭	釧	路	市
女				街		島	田	夫	釧	路	市
サ	ー	キ	イ	の	居	園	都	常	函	館	市
逆	光	と	静	街	物	長	川	晰	函	平	町
木	ん	ぼ	う	目	岩	山	本	幸	赤	輕	市
が				地	婦	杉	本	孝	遠	蘭	市
沼				機		遠	藤	祺	室	小	牧
裸				炭		金	澤	一	苦	路	市
冬	の	選	炭	機	物	小	林	一	釧	河	市
靜	物	・	靜	物	物	大	友	一	浦	小	牧
建				景	(B)	鹿	毛	正	菩	別	市
風						福	井	正	穂		村

最高基準品 専門家用・學校用

ケント製図器

道内有名文具店にあり

發賣元 株式會社 内田洋行札幌支店



海冬岩知風風雲工座靜	の ある 別 風	岸(B) 樹景景景物景女物(A)	田村笹佐竹平志照北横砂谷池倉木坂吉渡君金米長萩小	中上谷藤内間村井市順友直國武雅眞隆恭哲貞卓	吉詞義國邦哲一	藏郎武臣泰章猛明男郎二介助夫良夫俊利治子夫子也名	中花中室士輪旭苦札苦札札札函札美札北室札札札稻	島園島蘭別西川小幌小幌幌幌館幌深幌見蘭幌幌幌穂	町町町市町町市市市市市市市市市市市市市市市市町
(知事賞) 冬の藻岩山・鮭		山・鮭	砂谷池倉木坂吉渡君金米長萩小	田口正國武雅眞隆恭哲貞卓					
室内のポジション		日像製女景物景物像物女釜(B)	田澤村田野邊野丸谷内原山						
冬(市長賞) 少年	か み の 風	(A)	木坂吉渡君金米長萩小	田澤村田野邊野丸谷内原山					
剝黒工建雪玲建少蒸花	場 の 子 氣	(A)	木坂吉渡君金米長萩小	田澤村田野邊野丸谷内原山					

# ガクブチ

## 洋画材料

### 松山賞美堂額縁店

札幌市南3西1帝國座裏





熱水裸働 (奨勵賞)	海邊く とのい 大	風新 人 ポプラ ン表 い大 刻)	景綠婦々 木並 プ情 夜地	地壑開	齋橋朝森 原成谷 伏鶴	藤本妻田 田口木川	洪建喜 義英正 光五	人富次昇 行一義 夫郎	札琴札旭 琴北浦 浦大	幌似幌川 似見河 河野	市町市市 町市町 町村
首 〃 女 〇農 首(A)	の とい う	友 首(B)	首人夫	會員	山本佐 本山松 上	内郷 藤田本 田林	壯忠明 一與智	夫新良 二也一 子	東〃 〃 札札東 札	京 幌幌川 幌	都 市市村 市
郷愁 白作 無	の馬	地岳 品我	圖岳 品我	會員	川前 〃 齋	上田 藤	澄政 清	生雄 清	字東 〃 〃	都京	市都
陶器(A)	陶器(B)	會員	會員	會員	宮下貞 一郎	宮下貞 一郎	宮下貞 一郎	宮下貞 一郎	札幌	幌	市

各代理店

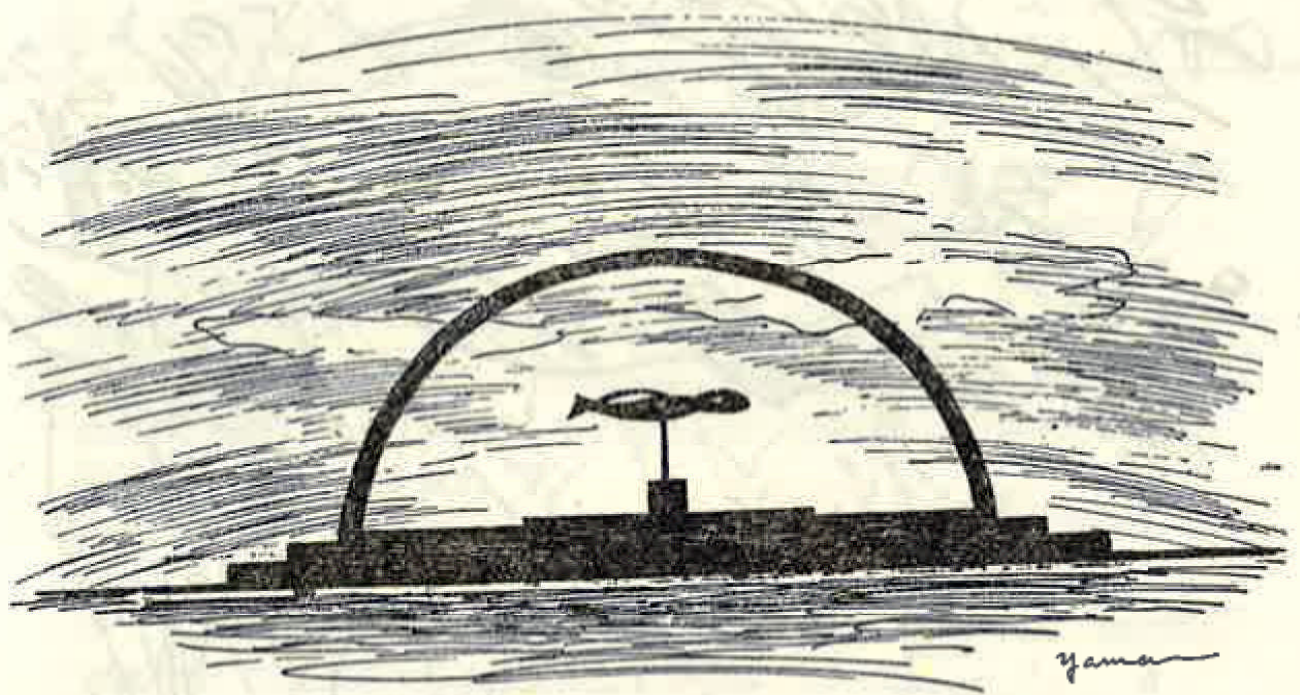
◆

<p>紙製品事務用品文房具販賣</p> <p>千佳製紙株式會社</p>	<p>東北パルプ株式會社</p>	<p>北日本製紙株式會社</p>	<p>本洲製紙株式會社</p>	<p>十條製紙株式會社</p>	<p>苫小牧製紙株式會社</p>
-------------------------------------	------------------	------------------	-----------------	-----------------	------------------

株式會社  
服部紙店  
札幌支店

札幌市大通西二丁目





### 抵抗精神への鎮魂碑「浮遊」

山内 壯夫

抵抗精神の歴史は悲劇と熱情の連鎖であろう。悲劇的運命に終つた彼等の魂こそ歴史を作つていつた良心であり齒車であつたであろうに、時代に容れられず、逆境に突落され憩うところもなく常に浮遊して、没却の彼方へ捨て去られてしまつた崇高な良心に捧げるささやかなる安息所——が出品作の出発点であり、彫刻の宿命である静止性への反抗がこの動く彫刻を試みた造型的抵抗である。



### 小女 國井 澄

昨年母を亡くしてより急に人懐なつくなつたこの娘が可憐でいじらしくつい畫いてやりました。私の感情も含めて表現したいと試みたのですが、又、私の思う作品になつて呉れなかつた。





## 選 果

— 木 万 壽 三

もいだ林檎を選び別け乍ら箱につめる仕事を「選果する」と果樹園の人達はいっている。何枚か林檎園でスケッチしたり、畫室にリンゴ箱を持ち込んだりしてやつたのだつたが、狭い畫面に盛澤山になつてしまつた。



## 胸中の地圖

川 上 澄 生

我にノスタルヂアの地あり  
や無しや。  
自問自答す。南溟か  
はた北溟か。ここに胸中の  
地圖を擴げて  
しかと定めんかな。



## 全道美術協會小史

創立 昭和二十年十一月札幌において

北海道の美術文化の水準を高めこれの普及に貢献することを目的として北海道新聞社の後援を得道内、道外に在るを問わず、北海道出身の左記作家をもつて本會を結成す。

居串佳一 池谷寅一 一木万壽三 伊藤信夫 岩船修三 上野山清貢 小川マリ 小川原脩 菊地精二 木田金次郎 國松登 齋藤廣胖 高橋北修 田中忠雄 田邊三重松 西村喜久子 橋本三郎 松島正人 三雲祥之助 山内壯夫(彫) 川上澄生(版)

創立展覽會 昭和二十一年六月札幌㊦百貨店において會員及び招待者作品により開催

受賞 協會賞 諏訪田勝衛 獎勵賞 石津ミヨ 三上恵美子 池田豊二  
會員推舉 田邊謙輔 金子幸正 宮下貞一郎(工)

第一回展覽會 昭和二十二年八月札幌市㊦百貨店において道新と共催

受賞 協會賞 菊地又男 道新賞 鈴木傳 長官賞 池田豊二  
市長賞 渡邊伊八郎

會友推薦 池田豊二 鈴木傳 渡邊伊八郎 菊地又男 森本三郎 谷口玉二郎 小島眞佐吉

昭和二十二年十二月二十日・二十一日の兩日㊦百貨店において引揚同胞援護のため色紙、肖像の揮毫を行い益金壹千四百圓を學生同盟に寄附す。

第二回展覽會 昭和二十二年十一月札幌㊦百貨店において道新と共催

受賞 協會賞 諏訪田勝衛 道新賞 國井澄 知事賞 大谷久子 市長賞  
花谷時子 獎勵賞 平川勇 金丸直衛 義江清司 漆崎繁雄

會友推薦 大谷久子 花谷時子 諏訪田勝衛 國井澄 平川勇

會員推舉 池田豊二 谷口玉二郎 鈴木傳 小島眞佐吉 森本三郎

第三回展覽會 昭和二十三年八月札幌㊦百貨店において道新と共催

受賞 協會賞 宮前文平 道新賞 漆崎繁雄 知事賞 田中祥三  
市長賞 遠藤未滿 獎勵賞 松本伸子 八木保二 千葉七郎

會友推薦 伊本淳(彫) 漆崎繁雄 遠藤未滿 山岡三秋(彫)

會員推舉 前田政雄 國井澄

札幌閉會後 函館㊦百貨店において開催す

第四回展覽會 昭和二十四年八月札幌市㊦百貨店において道新と共催

受賞 協會賞 松島鈴子 道新賞 小西葉子 知事賞 松本伸子  
市長賞 天野宮藏 獎勵賞 小山内益郎 渡邊祐一郎 柄内忠男

會友推薦 角谷隆一 天野宮藏 千葉七郎 八木保二 松島鈴子 東政雄



會員推舉 岡部文之助 本郷新 佐藤忠良 伊本淳(彫)  
 昭和二十四年十月苫小牧王子製紙クラブにおいて地方展開催

會 員 木田金次郎脱會

第五回展覽會 昭和二十五年八月札幌◎百貨店において道新と共催

受 賞 協會賞 鎌田雛子 道新賞 木村良 知事賞 三津谷理與子  
 市長賞 猪俣鐵雄

會友推薦 平川勇 柄内忠男 小西葉子 松本伸子

會員推舉 天間政五郎(版) 八木保二 東政雄 松島鈴子 遠藤未滿

第六回展覽會 昭和二十六年七月札幌◎百貨店において道新と共催

受 賞 道新賞 谷口一芳 知事賞 前野昌市 市長賞 池田正之助  
 獎勵賞 蛭子善悦 松田實 砂田友治 竹内豊

會友推薦 三津谷理與子 鎌田雛子

會員推舉 本田明二(彫)

札幌閉會後 小樽市◎百貨店 俱知安町學校 美唄市三菱美唄礦業所の三カ  
 場において地方展開催

會 友 花谷時子脱會

第七回展覽會 昭和二十七年八月札幌◎百貨店において道新と共催

受 賞 協會賞 竹内豊 道新賞 蛭子善悦 知事賞 竹内昭吾  
 市長賞 池田正之助 獎勵賞 岡田悟郎 砂田友治  
 猪俣鐵雄(彫)

會友推薦 谷口一芳 松田實

會員推舉 齋藤明

### 全道美術協會・會員・會友住所録

(1953.7.20現在)

事務所 札幌市北十六條東一丁目(本田方) 〒②3034

會 員

札幌市南十四條西九丁目	谷 口 玉 二 郎
札幌市南十三條西八丁目	國 井 澄 夫
札幌市南三條西二十六丁目	伊 藤 信 豊
札幌市北十七條西二丁目	澤 田 明 三
札幌市北十六條東一丁目	本 田 登 傳
小樽市稻穂町東六 道新小樽支社内	森 國 松 木
小樽市富岡町一	鈴 池 寅 一
小樽市松ヶ枝町三十四	鈴 池 岩 修 三
函館市青柳町十三	池 岩 金 幸 重
函館市谷地頭町二九	田 邊 三 三
函館市時任町一七九番地ノ一	橋 本 政 五
函館市杉並町一二六	橋 東 正 北
函館市杉並町八九	天 間 高 一
函館市西川町六	高 橋 萬 壽
函館市西川町十一	旭 川 藤 廣
旭川五條八丁目	空 知 郡 江 部 乙 村 ハンガイ 通 り
俱知安町南一條	有 珠 郡 伊 達 町 梅 本
有珠郡伊達町梅本	



茅部郡砂原村會所町十一番地  
 勇拂郡安平村遠淺  
 東京都豊島區千早町二ノ一一  
 東京都中野區沼袋町九五  
 東京都世田谷區經堂町四二一  
 東京都練馬區上石神井二ノ八三一  
 東京都北多摩郡久留米村南澤學園町  
 東京都杉並區清水町一六〇  
 東京都下武藏野町吉祥寺三一七

〃  
 東京都中野區鷺ノ宮五ノ一九八  
 〃  
 東京都世田谷區玉川中町一ノ九七六  
 東京都杉並區上高井戸三ノ六四三 並木方

東京都世田谷區世田谷二ノ一二九六  
 東京都澁谷區代々木上原一一七七  
 東京都世田谷區松原町三ノ八〇四  
 神奈川県茅ヶ崎市小和田濱竹四五の三  
 神奈川県藤澤市鶴沼七四一四  
 宇都宮市大寛町宇都宮女高校内  
 會

小樽市色内町四丁目一七  
 岩見澤市上志文  
 江別町字美原  
 茅部郡鹿部村 鹿部中學校内  
 札幌市南八條西十八丁目  
 東京都豊島區千早町二ノ一一  
 大阪市阿倍野區阪南町西三ノ二一 堀川方  
 札幌市伏見町花園街  
 函館市堀川町十ノ三  
 函館市杉並町四八  
 函館市若松町一〇〇  
 函館市榮町一  
 札幌市北一條西十七丁目  
 美唄市三菱美唄礦業所

子滿二貢夫吉雄助助リ人子二一輔新良雄郎淳生  
 久未保清壯佐忠之マ正鈴精佳謙 忠政一 澄 七三勝 宮久伸 葉忠繁 雛隆一  
 喜山眞文祥 川島島地串邊 郷藤田下 本上 葉岡訪野谷木 内崎川田谷口田  
 村藤木野内島中部雲 川島島地串邊 郷藤田下 本上 葉岡訪野谷木 内崎川田谷口田  
 西遠八上山小田岡三小松松菊居田本佐前宮伊川 千山諷天大八岸柄漆平鎌角谷松

友

編集後記 今年は今までずつと會の事務所をやつて下さつた老田さんの都合もあり、これから會員のところでも事務所をやるという意見もあつて僕の處が第一回目の事務所に戻つて來た。お互に忙しいし、僕など特にズボラの方なので會の仕事には不向なので困るのだが在札會員が手傳うというので引き受けたのだが、色々行きとどかないことがあつて申しわけありません。目錄の編集も僕に戻つて來、今年作品を中心にしました。作品も製版の出來具合の都合でデッサンを多くしました。展覽會を御覽になる方の觀賞の助けになれば幸いです。(本田記)



# 料 材 画 洋

具 繪 油 ダ ツ マ  
ア ポ ロ ス ケ ツ チ ブ ツ ク  
船 岡 キ ヤ ン バ ス



幌 札

# 丸 大 春